

社会的責任と貢献活動

当会は、京都府を事業区域とし、JAなどが会員となる相互扶助型の農業専門金融機関であり、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JAとの強い絆とネットワークを形成しJA信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供だけでなく、環境、文化、教育面も含め、幅広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

■ 地域貢献活動

■ 地域からの資金調達の状況

当会の平成28年度末の貯金残高（譲渡性貯金を含む）は、1兆1,841億円となり、うち1兆947億円は府内JAよりお預かりしています。

また、組合員を含めた地域の皆さまの計画的な資産作りをお手伝いさせていただくため、目的に応じた各種貯金や国債、投資信託等の金融商品の取扱いをしています。

■ 地域への資金供給の状況

当会の平成28年度末の貸出金残高は、811億円となりました。

当会の資金は、農家組合員や農業に関連する企業、地場産業ならびに地方公共団体等においてご利用いただいております。また、(株)日本政策金融公庫の受託貸付金の活用にも努めており、農業の担い手を金融面から積極的に支援しております。

■ 地域密着型農業金融の取り組み

1. 地域農業の発展・活性化支援

① 農業者・中小企業等への経営支援に関する取り組み

農業者の協同組織金融機関として、農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくことを、「最も重要な役割」のひとつとして位置づけるとともに、お客さまからの経営相談、貸付条件の変更等の申出に対しても積極的かつきめ細かく対応することで、経営改善への取り組みを支援できるよう努めています。

また、「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、本ガイドラインを尊重し遵守するための態勢を整備し、誠実に対応するよう努めています。

■ 金融円滑化にかかる基本方針

当会は、府内JA信用事業の連合会として、農業者や中小企業者等のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくことを、当会の最も重要な役割のひとつとして位置付け、当会の担う公共性と社会的責任を強く認識し、その適切な業務の遂行に向け、以下の方針を定め、取り組んでいます。

【金融円滑化にかかる基本方針】

- 1 当会は、農業者や中小企業者等のお客様からの新規融資や貸付条件の変更等の申込みがあった場合には、お客様の特性および事業の状況を勘案しつつ、できる限り、柔軟に対応するよう努めます。
- 2 当会は、事業を営むお客様からの経営相談に積極的かつきめ細かく取り組み、お客様の経営改善に向けた取組みをご支援できるよう努めてまいります。
また、研修等により上記取組みの対応能力の向上に努めてまいります。
- 3 当会は、農業者や中小企業者等のお客様から新規融資や貸付条件の変更等の相談・申込みがあった場合には、お客様の経験等に応じて、説明および情報提供を適切かつ十分に行うように努めてまいります。
また、お断りさせていただく場合には、その理由を可能な限り具体的かつ丁寧に説明するよう努めます。
- 4 当会は、農業者や中小企業者等のお客様からの、新規融資や貸付条件の変更等の相談・申込みに対する問い合わせ、相談及び苦情については、公正・迅速・誠実に対応し、お客様の理解と信頼が得られるよう努めてまいります。
- 5 当会は、お客様からの新規融資や貸付条件の変更等の申込みについて、関係する金融機関等（政府系金融機関等、信用保証協会等および中小企業再生支援協議会を含む。）と緊密な連携を図るよう努めます。
また、これらの関係機関等から照会を受けた場合は、守秘義務に留意しつつ、お客様の同意を前提に情報交換しつつ連携に努めます。
- 6 金融円滑化管理に関する体制について
当会は、お客様からの上述のような申込みに対し、円滑に措置をとることが出来るよう、必要な体制を整備いたしております。
 - (1) コンプライアンス委員会での協議
専務、各部長を構成員とする「コンプライアンス委員会」にて、金融円滑化にかかる対応を一元的に管理し、組織横断的に協議します。
 - (2) 苦情・相談窓口の設置
事業資金または住宅資金をお借入いただいている農業者または中小企業者等のお客様からの円滑化にかかる相談窓口及び苦情相談窓口を設置しています。
 - (3) 金融円滑化管理責任者および担当者の設置
営業部長を金融円滑化管理責任者とし、営業部に金融円滑化担当者を設置し、金融円滑化の方針や施策の徹底に努めます。
- 7 当会は、本方針に基づく金融円滑化管理態勢について、その適切性および有効性を定期的に検証し、必要に応じて見直しを行います。

②農業担い手支援

当会に設置した農業金融センター、各JAに設置した担い手金融リーダー、JA京都中央会・各連合会と共同設置したJAグループ京都担い手、地域・農業活性化サポートセンターが連携し、担い手のニーズに応えるために、金融面からの支援に取り組んでいます。
また、(株)日本政策金融公庫の農業経営基盤強化資金（スーパーL）や農業改良資金等の

活用により、農業者の自主性と創意工夫による経営規模拡大・改善を支援しています。

併せて、新たな担い手の創出策として、新規就農応援事業、(株)日本政策金融公庫の青年等就農資金等を活用して新規就農者の定着を図っています。

③ J A グループ京都担い手対応連絡協議会を通じた取り組み

当会および J A 京都中央会等で組織する連絡協議会を通じて、他の連合会と事業間連携・情報交換を行うとともに、J A グループ京都農業法人協会に加盟の 101 会員を中心に訪問活動を展開し、資金ニーズの把握等に努めています。

④ 担い手に適した資金供給手法の取り組み

農業者の資金ニーズに即した最適な資金提供ができるよう、幅広い相談対応に努めるとともに、アグリビジネス投資育成株式会社のアグリシードファンドを活用し、農林中央金庫と連携して地域の農業発展の核となる農業法人に対する資本増強にも積極的に取り組んでいます。

2. 農業・農業者応援プラン

J A バンク京都として、農業・農業者・地域を支援するため、「農業・農業者応援プラン」を策定しました。「経営安定化対策」、「農業法人等活性化対策」、「就農支援対策」、「食農教育・地域貢献対策」を4つの柱に各種施策を設定し、担い手の所得増大、地域の活性化を応援していく取り組みを進めています。

また、新規就農者への支援、農業と J A の架け橋となる農業アドバイザーの設置支援、食農教育応援事業等を農林中央金庫等、関係機関と協調・連携し進め、活力ある地域農業の支援も行っています。



《主な事業》

① 農業資金利子補給事業・保証料助成事業

J A の農業資金である『農業経営資金』について、最大 1%・最長期間 10 年の利子補給を行うとともに、基金協会保証料を全額助成することで、農業者の方たちの借入にかかる負担を軽減し、農業経営を応援しています。

② 農業被害支援利子補給事業

自然災害により、経営基盤に被害を受けられた農業者への J A 融資に対し利子補給を行い、金利負担の軽減を図ることで農業経営の復興を支援しています。

③農業経営管理支援事業利用料助成事業

J Aが実施する『農業経営管理支援事業』（記帳代行サービス等）の顧客基本料の半額を助成し、農家経営の安定化を応援しています。

④新規就農応援事業

J Aバンクアグリ・エコサポート基金と連携し、新規就農者の農業費用、および就農希望者を育成するための研修受入先の研修費用に対して助成を行い、新たな担い手の創出支援に取り組んでいます。

⑤その他農業・農業者支援

個人・集落営農組織等が法人化する際の費用の一部助成、有害鳥獣被害の防止・軽減を行うためのJ A等の取組みへの助成、J Aグループ京都農業法人協会等が行う農業者向け研修会等への助成、J A農産物直売所が行う農業者所得向上・地域貢献に結びつくイベント等への助成等、農業振興・農業者の所得向上ならびに地域活性化に繋がる取組みへの後押しを行っています。

3. J Aバンクアグリサポート事業（J Aバンクアグリ・エコサポート基金）

J Aバンクとして、日本の農業・農村に対する支援を行うため、農林中央金庫が主体となって「J Aバンクアグリ・エコサポート基金」を設立し、全国で事業を展開しています。

《主な事業》

①利子助成事業

J Aが行う担い手向けなど一定の農業融資に対して、利子助成が行われています。京都府内においては、195件の融資に対し、272万円の利子助成が行われました。

②J Aバンク食農教育応援事業（教材本贈呈事業）

子どもたちが食・環境と農業への理解を深めるきっかけとなることを目的として、平成20年度より京都府内の公立小学校の5年生（約2万1千人）を対象に、「農業と食」「農業と環境」「農業と経済」をテーマとする補助教材本・DVD「農業とわたしたちの暮らし」を贈呈し、食農教育の理解促進に努めています。



4. 農商工連携応援ファンドを通じた支援

当会では、J A京都中央会、京都府や地元金融機関とともに「きょうと農商工連携応援ファンド」に対して資金を拠出し、府内の農林漁業者と中小企業者の密接な連携による新たな京都ブランドの創造や新たな農業ビジネスの創出等の取り組みに対して助成金の交付により支

援を行っています。

■ 文化的・社会的貢献について

1. グラウンド・ゴルフ大会の実施

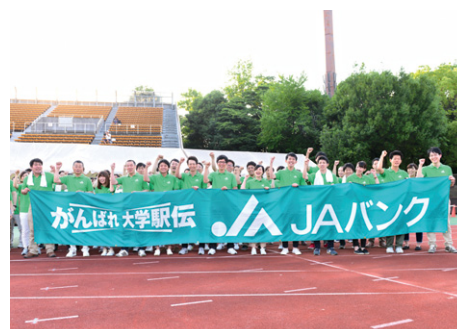
J A年金友の会会員の相互交流や親睦、健康の増進を図るため、府内J Aにおいて組織された年金友の会の会員を対象としたグラウンド・ゴルフ大会を毎年企画、運営しています。第17回を迎えた平成28年度は、各J A選抜の18チーム108人に参加いただきました。



2. 「全日本大学駅伝対校選手権大会」への協賛・支援

青少年育成、地元の文化・スポーツ振興を応援する一環として、平成21年より「秩父宮賜盃全日本大学駅伝対校選手権大会」に特別協賛しています。

関西地区予選会では、選手に「京都米おにぎり」や「宇治茶」、また、全国大会出場を決めた府内の大学に対しては「京の肉」を贈呈し、京都産食材の提供を通じ大会運営を支援しています。



3. 「赤い羽根定期積金」による社会福祉活動への支援

府内の社会福祉活動（高齢者や障がい者・児童への福祉活動やボランティア活動）を恒常的に支援するため、J Aバンク京都では「赤い羽根定期積金」の契約額に応じて京都府共同募金会に寄付金を贈呈しました。



4. 「京都丹波ロードレース大会」への協賛

京丹波町の一大イベントとして毎年盛り上がりを見せている「京都丹波ロードレース」に特別協賛し、地域振興とJ Aバンク京都の認知度の向上ならびにイメージアップに取り組んでいます。

5. 「京都サンガFC」への協賛

平成18年度より、京都のプロサッカーチーム「京都サンガFC」のオフィシャルスポンサーとなり、地域の皆さまとともに応援しています。

6. おいしおすえ京野菜キャンペーンへの協賛

毎年行われる「京野菜フェスティバル」におきまして、JAグループ京都として、おいしおすえ京野菜キャンペーンへの協賛を行っています。

7. 京野菜晩餐会の開催

JAグループ京都は京野菜の世界ブランド化に向けた取り組みとして、前年の中国に引き続き、平成28年8月にロシア・モスクワのペトロフスキー宮殿において、京野菜をはじめとする京都府内産農畜産物を用いた大晩餐会を開催しました。日本の政府関係者や京野菜の生産者、ロシアからも政府関係者やマスコミ、料理人などの方々に参加いただきました。



8. 京都500歳野球への協賛

平成24年度より、京都500歳野球連盟に協賛し、地域の文化・スポーツ振興を応援しています。

9. 広報活動

テレビ番組「あぐり京都」（企画・提供：JAグループ京都）、「夢追人～農に生きる～」(提供：JAバンク京都・JAバンク滋賀・農林中央金庫) やラジオ番組への協賛などを通じて管内の農業生産法人、農業者や農作物を紹介し、農業・農村の役割への理解や、食の安心・安全の浸透に努めています。

10. 年金相談会・住宅ローン相談会の開催

府内JAの各店舗における「年金相談会」、「住宅ローン相談会」の開催を支援し、地域の皆さまの相談ニーズに応えられるよう、相談員の派遣や資材の提供を行っています。

晩餐会で出された 京都産食材を用いた料理

